

2011年 地域インターンシップ

11月6日 最終報告

第10期生 ニックネーム しげっち

活動期間 10月10日～11月6日、その間に行った事

・カラオケバス 10月12日

以前はカラオケをバスに積み込んで要望のあった場所に赴いてカラオケ大会を開いていた事もあったようだが、現在は要望のあった場所の仮設住宅、その集会所にカラオケの機会を据え置いて、毎週決まった曜日を決めて定期的に行っているということである。

上記のカラオケバスに関して私が行った事は、会津っこのオーナーに仮設住宅のある場所に連れて行っていただき、カラオケ機器のセッティングをしたということである。

ただ、この日は待てども待てども誰もカラオケに来てくれる様子はなく、仮設住宅の中で声をかけてもどなたも返事さえしてくれないという状況であった。

仮設住宅の方たちと話させてもらうためにはかなりの時間が掛かると実感したお手伝いであった。

結局この日は昼までで終わりになったのだが、その後聞いたところによると、午後三時頃に様子を見に行かれた際は3人程の方が歌われていたということである。

・西会津町野沢、観光的視点での視察及び地域の方々の会合の場での意見発表（活動内容、発表内容は別紙参照）

10月12日・13日・17日・19日





- 商品知識を入れる

物販の際に扱う商品について、その商品知識を覚える。

- 片桐農園さんでの作業 10月14日・20日・26日・11月2日

- コンバインで稲を刈り取る際の作業補助(先回りして雑草を刈り取る)、カントリーエレベーターへの飼料米の搬入

- 稲刈り後の畑の手入れ手伝い(稲穂をとった後の幹に当たる部分を次の春までに土に戻るようにするために 畑に均等にまく。)

- 野菜の収穫

おばあさんの畑で野菜の収穫を見せていただく。

- 柿の収穫

お庭にある柿の木の柿を収穫した(採った柿は自宅で焼酎をかけて家庭用とご近所に配られる。地域の繋がりを感じ、大変良い考え方だと思った)。

- 畑を耕す(トラクターで均等に撒いた稲の残りを土と混ぜ合わす際の補助作業)

トラクターで畑を耕し、土と稲わらを混ぜ合わすことで、稲の分解を促し早めに土にするために行う作業。雪に埋もれてしまうと稲わらが分解せず次の春まで残ってしまうので、冬は雪深くなる会津ではできるだけ早めに土と混ぜ合わせる作業を行った方が良いということであった。

- 鶏糞肥料の散布

次の年も良い米が作れるようにするための準備作業。

- 米ぬかの収集と散布

次の年のために田んぼに養分を与える為の作業。米ぬかは片桐さんの家で精米した際のもの他に、いろんなどころから集めてきてい

るとのこと。



・渡部柿農園さんでの作業 10月27日

○柿の挽ぎ取り

脚立を使い、柿挽ぎを行った。柿の挽ぎ取りは同じ木でも何度も行うので、その都度色づきの良い柿だけを探るようにするというのを知った。また収穫した柿は渋柿でそのままでは食べられないので、焼酎をかけ渋をぬいてから食べる、つまり渋柿の渋(タンニン)を焼酎で抑えるということである。食べられないものを食べられるようにする、それも甘く美味しい柿にするというのは、干し柿と並んでみしらず柿も素晴らしいアイデアであると思った。



・会津地鶏みしまやさんでの作業 10月31日・11月4日

○鶏への給餌

鶏たちのえさ入れにえさを入れていく作業。(一輪車を使い、大量にえさをあげるの結構な労働である。育てる大変さをかいま見た作業である)

○鶏の屠殺及び解体・パッケージングの見学

鶏を機械のオートメーションで殺していくのではなく、血抜きをきちりして、確実に美味しい肉にするために、人の手で屠っていた。人

間は何かの命をいただいているということを知る、本当に大切なことに気づくための、そしてその大切なことを忘れないためにも重要な作業であると思った。

○ひよこ用の温度管理室作り

大きくなる前のひよこの状態ではやはり身体も弱く死にやすいので、温度管理のできる特別な場を作る必要があるということで、そのための場作りの手伝いをやらせていただいた。



・大友農園さんでの作業 10月28日・29日

○発送用米の袋詰め手伝い及び積み上げ

精米したお米を袋詰めして、パレットの上に積み上げていく作業。

○りんごの葉落とし

日当たりを確保し、りんごがきちんと全体的に色づきするように日光を遮る葉を落とし、りんごに太陽の光がよく当たるようにする作業。



・埼玉県川口での物販 10月15日

D-シネマ映画祭というイベントでよんでいただいた物産販売であり、大友農園さんと一緒に行った物販である。また、東京で野菜レストランを営んでいらっしゃる方たちもおられ、彼らは野菜などの生鮮食品と果物を販売しており、その野菜と果物を使ったジュースを実際にその場でジュースャーを用いて作り、販売していた。りんごが足りなく

なった際は、大友農園さんのりんごを使うなど、各ブースでの助け合いもあり、3ブースともに助け合わせていただいた日であった。

また、この日は大変たくさんの野菜ソムリエの方たちにもお手伝いいただき、いろんな話を聞かせていただいた。

天候は生憎だったに関わらず、先方の事前の告知・宣伝がしっかりしていたこともあり、たくさんの方に来ていただけた。お客さんの中には福島から避難中の方も大勢来ていただき、また福島出身の人たちもわざわざ足を運んできてくださっていた。



・新潟市社会福祉会館での物販 10月16日

新潟市にある国際協力団体の主催で行われているバザーの1ブースとして参加させてもらった物販。私が参加したのは2日間通して行った2日目。

客層は社会福祉会館ということもあり、かなり上の方の年齢層のかたが多いように感じた。また出展ブースは主に寄付を主体としており、チャリティーバザーのような感じであったので、商品は全体的に割安であり、その分素材広場のブースの商品は割高に感じる物販であった。

着目すべき点としては、会場の係員(販売員)の多くが新潟大学などの学生さんであり、国際協力団体のスタッフと連携してバザーを運営している点が印象的であった。

またその中の企画で、学生たちが民族衣装をまとってファッションショーを行うなどもあり、ただ販売するだけでなく、来場者を楽しませるイベントも豊富で素晴らしかったと思う。

各種イベントは来場者にも大変良い刺激になったのではないかと思われるので、その意味においてチャリティーバザーとして意味あるも

のであったのではなかろうかと考える。



・新潟市古町商店街での物販 10月22日

商店街の歩行者天国の真ん中に店を出すような感じの物販であった。

ここで物販はすでに何度も行っているらしく、到着したときには、販売場所がすでに設置されており、すぐに商品を並べて開始することができた。

天候は曇りであり、悪くはなかったのだが、客足としてはあまり来ていただけなかったというのが正直なところであった。

今回良かった点としては、ガス展のイベントが、販売ブースの近くで行われており、そこでガス展の招待状を持ってきた人は抽選に参加できるというイベントを行っていたので、そこに参加する人たちがついでに見ていくという感じであった。

客層は基本的に壮年・老年の方たちが多く、青年層はたまに通ったが、自転車であり、自分には関係ないという風であった。



・南相馬市視察 10月18日

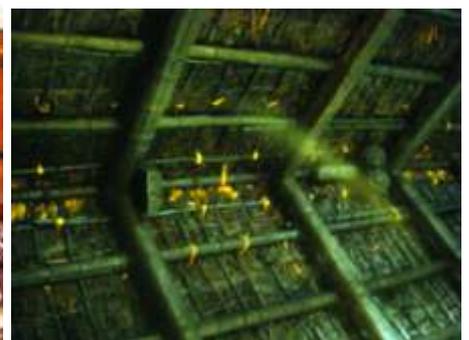
事務所の全員で南相馬の関係団体の方に挨拶に伺わせていただいた。またその道程で川俣町に寄り、川俣シャモのスープやシャモの卵などを販売している道の駅にも寄ることができ、地元の食材を使っている加工したりして、販売している様々な商品を見られた。

また南相馬市の関係団体の方に挨拶した後は、南相馬市の現状を見る事ができ、震災で起きた惨状を垣間見た。



・会津復興キャンペーン第三弾、地酒ツアーに参加 11月1日

観光バスに乗って酒蔵を回ることにより、会津にいかにも良い酒が多いのかを知ることができたツアー。様々なお酒を試飲させてもらうことができ、とても充実したツアーであった。このツアーの際には、南郷トマトを使った料理も3品食べさせていただき、大変おいしかった。



・仮設住宅での茶話会に参加 11月5日

毎月5の付く日は仮設住宅内の集会所で行われているという茶話会に参加させていただいた。行く前、そして行った当初はやってないのではないかと正直不安でありましたが、当日は大熊町ふれあいまつりというイベントも一緒に行われており、大変盛況でお客さんもたくさんこられて大変楽しい場であった。

また、和気藹々と一緒に話すことによって、普段はお話いただけない様々な心境についてもお話いただき、大変有意義な時間でありました。

お話いただいたことの一つは、やはり毎日不安の中で過ごしておられるということで、どうしても夜中に起きてしまうということであった。将来への不安で熟睡することができていないということである。(熟睡できない理由としてもう一つは、今まで農作業などのハードワークをしていたから身体も疲れてよく眠れたということだったが、今は何もしていないので身体もそんなに疲れず眠れていないということであった。)

そしてもう一つは、仮設住宅の居住者たちからの要望である。被災者の方たちのニーズというものを始めて聞くことができるので、これは極めて重要ではないかと思われるのだが、それはPCの使い方を定期的に教えてくれる人はいないかということであった。

何故PCを使ったがっておられるのかというと、自分たちの住んでいた村の様子をインターネットを通じて知りたいからということであった。役所に聞いてもインターネットなどで確認してくださいといわれることが多いらしく、自分たちで様子を知りたいので、自分たちでPCを操作できるようになりたいので、誰か定期的に通って使い方を教えてくれる人はいないかといっておられた。



・FW

○会津若松市内周遊(飯盛山・白虎隊墓碑・さざえ堂見学、近藤勇の墓、武家屋敷、東山温泉地区視察) 10月10日・11日

また観光案内所で聞いたところ、復興支援金でスタンプラリーをしているとの事だったので、福島県外部の人間として観光にどのような意

味があるのかを知るため、スタンプラリーにも挑戦中した。
復興支援金で行われているというスタンプラリーは2種。
それに伝統工芸品を見て回ることを目的としたシールラリーを加えて
計3種の町の見所ラリーに参加し、会津若松の部分のみだが、無事
全て終えることができた。



○大龍寺を訪ねた際(10月11日)、お寺に所縁のある男性の方とお寺の奥さんと3人で茶のみ話になり、最後には煎茶の話題で奥さんと話が合い、御薬園で行われる秋の煎茶会にお誘いいただく。

上記イベントは、10月23日(日)に実際に参加させていただき、地域の方とコミュニケーションを取る上でも大変良いイベントであった。お茶会事態は毎年秋の恒例行事として開催しているらしく、参加者は顔馴染みの方も多いうえだったが、初めての人も沢山おり、観光客でも参加できる開かれた場であった。

場所は薬用植物を多く栽培している事でも知られる御薬園である。日本庭園も凄く綺麗な所で、庭園の中央にある庵も良い雰囲気を出していた。

お茶事としては、紅茶席・玉露席・点心席な3席があり、それぞれの席を毎年どのような趣向で行えば楽しみ楽しませられるかを考えるのが面白いとおっしゃっており、お世話人をしてらっしゃる側の人たちの意識の高さを感じる場であった。

私も大阪では裏千家のお茶とともに煎茶の方もたしなませていただいているが、私がお大阪で習っている事とは違う事が多く、違いを楽しむという意味でも楽しませてもらったお茶会であった。

特に紅茶席というのは初めて聞いたので大変に興味深いものであり、

また点心も私の想像では軽食という程度のものだったが、十分に一食足り得る程の量と種類を出していただき、大変満足するものだった。ただ玉露席での最後に、昨今だんだん煎茶人口の高年齢化が進んでいるらしく、煎茶という文化を守る為にも煎茶を若い層にもっと広げ、煎茶の事を知ってもらいたいという思いがあると言ってらっしゃった。茶道もそうだが、煎茶においても己の精神性を高めるため、また教養を高めるためにも大変有効であると思うので、この煎茶の灯火を消す事が無いよう若い人にもっと普及する事を願うものである。



○鶴ヶ城及び茶室、県立博物館の視察 10月21日

お城の方は会津の歴史をほぼ全てというほど学ぶことのできる場所であった。現在はおみやげ物売りに売っていたからむし織の名刺入れを買おうかどうか悩んでいる。 県立博物館の方は、無料のハンズオンコーナーの方を見せていただいたのだが、子どもが自分で体験できるようになっており、大変素晴らしいものが多かった(昔の人の衣装の試着体験や昔と今の明かりの明るさ比べ、陶磁器を自分で触る事ができるなど)。

○塔のへつり、湯の上温泉視察 10月23日

会津若松市近郊の観光地として有名な塔のへつりを訪れた。

今回は観光客の視点でリサーチするため、行きはあえてトロッコ列車に乗車した。お座敷車両は窓も大きく景色を見るのに大変都合が良く、足を伸ばしてリラックスすることもできるので、もみじを観光の目玉として運行する上で、大変活用できる車両であると考えた。

また、湯の上温泉を訪れたところ、お客さんが多数来ており、紅葉の季節だけあって各々の民宿にお客さんが入っているようであった。今回日帰り入浴で訪れさせていただいたのは民宿「星乃井」さん。入浴料金は500円也。景色も良く大変良い湯であったが、店主の方に聞いたところ、一番のお勧めはお料理との事。いつか一度宿泊しに行きたいと思う。



○スカイライン視察 10月30日

福島で観光と言えばスカイラインというぐらい有名だと聞き、現在は通行料も駐車場代も無料ということで訪れて見たのですが、当日は生憎の天候で曇りな上霧が深く何も見えない状況でした。スカイラインの頂上近くの駐車場にとめた時は雲を突き抜けていたこともあり、霧も晴れていたなので、周りは良く見えたのですが、山の上は既に紅葉は終わっており、観光には時期が大切なのだと思った視察でした。

○喫茶茶蔵(さくら)訪問 11月3日

会津若松に来た当初から訪れようと思っていた喫茶茶蔵について訪問することができた。ここに行った目的は前述のお茶会に誘っていただいた大龍寺の奥さんが数珠作成用にと木の実も下さり、数珠の作り方は喫茶茶蔵のお客さんの中に、数珠作成のために木の実に穴をあける方法などに詳しい人がいるからその人のアドバイスを聞き

て数珠を作ったらとお勧めをいただいていたからである。幸いな事に、この日は幸運にも短時間の滞在にも関わらず意中の人にお会いすることができた。

○JAショップまんま～じゃ視察 11月3日

お世話になった農家さん(例えば渡部さん)も農産物を置いていることもあり、以前より話を聞いていたまんま～じゃを視察した。私が思っていた以上に品揃えが豊富で、各地のアイデアたっぷりのオリジナルな加工品も多く、見るものがたくさんあり、大変楽しめる場所であった。ただ、店内で写真を撮るのは好ましくないらしく、写真撮影をしていると注意を受けることがあるので、写真撮影は控えた方が良い場所である。



○東山温泉視察 10月11日・11月3日

前回、会津若松に来た当初に行ったのに続いて2回目の視察である。今回は観光客の足となるであろうハイカラさん及びあかべこバスという市内循環バスをあえて使用して赴いた。

周りに聞いていた話では東山温泉での日帰り入浴は高いイメージであったが、料金表一覧を会津若松駅前の観光案内所でもらったところ、以外とリーズナブルなところもあった。料金は500～1500円と幅があり、いろいろ選べることを知った。

以上